

国分寺市議会議員

ニュースレター

皆川りうこ

みな がわ

2003年 冬号



市民負担の前に、行政内部の積極的な改革を(国保値上げ案否決)

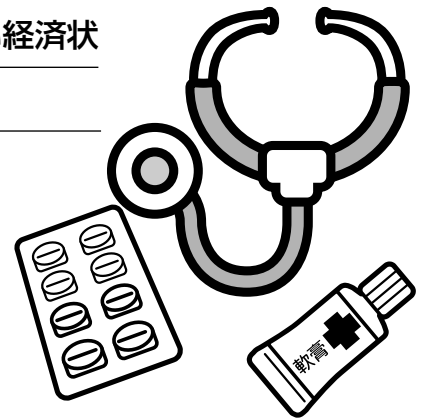
12月議会では、国保税値上げの提案がされました。しかし今の厳しい経済状況の中、市民への負担は避けるべきとして、賛成少数で否決されました。

◆なぜ今値上げ？

国保会計は、急速な高齢化による老人医療費の伸び、医療技術の高度化による医療費の負担増大、介護保険への移行が進まなかった、税収入不足などの要因で赤字続きとなっています。そこで一般会計からの補填も増加しこのまま放置できないことも事実です。市では平成13年度に、限度額40万から48万に引き上げる改定を実施しています。その後私皆川 りうこは医療費抑制の健康づくり施策の充実について発言してきましたが、市の積極的な対応は見られません。また、市民に新たな負担を求めるのであれば、NPO等民間委託化・職員給与手当て削減等、行政内部の改革に先ずは取り組むことが急務です。その点からしても私は現時点において不十分と考え、今回の引き上げには納得できるものではないと判断し反対の立場としました。

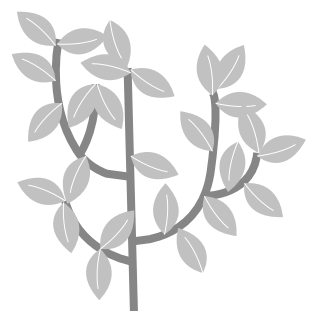
◆またもや、議案取り下げ

今議会で「無料で視聴や聴取しているビデオテープや録音テープ」を、「テープ代の負担だけでコピーができる」と、情報公開を推進する内容の情報公開条例の改正議案が取り下げられました。これは、私が所属する総務委員会の中で「議会では、会議録が出来上がると使用済みテープは次の録音に使うのでコピーが不可能になる可能性がある」「膨大な録音テープの保管場所や管理の責任」等、不明確な点が明らかになりました。市長は「関係部署との検討不十分、市側の手落ち」と説明し議案を取り下げました。また、補正予算においても、資源物回収業者の委託先の根拠が不明瞭・高齢者施設予定地域への住民説明が不十分で議案の出し直しとなりました。9月議会では下水道料金値上議案の取り下げに続き、今議会では行政側の不手際とミスが度重な



りました。市長は就任以来、助役の人事案件など採決前に取り下げ混乱を招いていることから、「問責決議」が6月議会で可決されています。ぜひ議案提案者としての市長は責任を重く受け止めるべきです。

今後とも、私は行政内部の改善・改革をめざして発言や提案を行なっていきたいと思います。





一般質問 委員会発言 より

高齢者、障害者の権利擁護のために (一般質問)

「社会福祉協議会が実施している一人暮らしの高齢者や、障害があるため外出も思いように出来ない場合の生活支援としての「財産保全・管理サービス」と、痴呆性などの症状により判断が不十分な方を保護し支援するためのサービス「成年後見制度」の二つの事業を「権利擁護事業」として連携しながら進めること」を提案しました。担当は、「非常に密接な関係のある制度なので、連携について検討していきたい。」との答弁でした。現在品川区では、社会福祉協議会が窓口となり総合的な支援を実施しています。権利擁護事業について市として、独自の考え方を確立する必要性があること求めました。

保育サービス向上のために (一般質問)

保育については、待機児解消の為に定員拡大と共に、民間参入により保育の質の確保が重要になってきます。そこで「以前から提案している第三者による評価システム導入の進捗状況は」に対して「実施に向けて計画的に取り組みたい」との答弁でした。

「サービス評価項目の例で、“職員参加による提案など意見聴取する仕組み”を問うものがあるが、臨時嘱託職員の意見反映の現状は？」と聞いたところ「誰でも意見を言えるような職場作りに心掛けている」との事でした。

いよいよ保育分野についても民間との競争の時

代に入りました。とは言え、保育は決して効率優先であってははいけません。又、公立であろうが民間であろうが、よりよい保育サービスの提供が必要です。今後も、市の保育サービスの評価システム導入を求めていきます。



市役所に経営感覚を取り入れ、 市民サービスの向上を (一般質問)

昨年私が所属する総務委員会では、超過勤務手当で削減のため、「変形労働時間制」を取り入れて、年間約3千万円の手当て削減した三重県亀山市を視察してきました。労働基準法の規定内、週40時間の勤務の範囲内で1日の勤務時間が6～10時間の短時間と長時間勤務を組み合わせて実施しています。国分寺市では、今年度の超過勤務手当での前年度実績に合わせて、年間1億9千800万円計上されています。残業を前提とするのではなくいかに効率よく且つ経費の削減をするのか考える必要があります。

亀山市の取組みを参考に「夜に開催される審議会など担当とする職員は、残業としてではなく通常の勤務時間内の仕事として時差出勤してはどうか」「昼休み市役所に電話してもつながらない。市民サービスの面で部や課内で調整し昼休み不在にならないように。」の質問に対し、市長は「市民サービスの向上や業務改善のために検討したい」という積極的な答弁でした。

亀山市では、「変形労働時間制」を議会の議決を必要とする「条例」ではなく市長が定める「要綱」

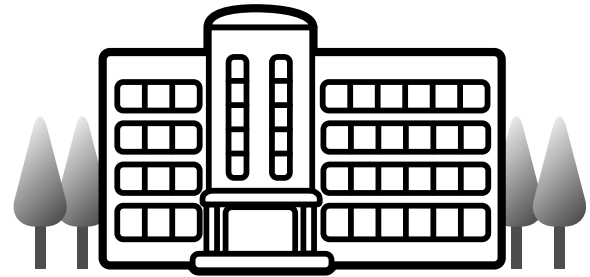
で実施しています。そこで市でも早急に取り入れることを再度要求しましたが、「職員組合との協議が必要」との事で日程は不明確です。

私は、今後も早期実現に向け発言していきたいと考えます。

※市役所の場合、1時間あたり平均残業時間コストは、通常の1.25倍 約3,106円です。単純計算で、毎日2時間超過すると1週間で5日×2時間×3,106円=30,106円 100人実施すれば約3千万円削減できます。残業手当削減にも目標管理という視点が必要です。

額の財政がつぎ込まれる文化会館建設事業です。情報公開を前提に事業に対しての十分な議論が必要です。

※PFI…民間資金や技術、経営ノウハウを活用し公共施設整備をしたり、効率的で質の高いサービスを提供するために導入された手法です。



市民文化会館建設 PFIは新時代の切り札となるか？

(学園跡地等周辺整備特別委員会)

委員会では、文化会館建設に関するPFI事業者選定審査委員会からの二次審査結果の報告書が資料として提出されました。報告書によると

「現時点で提案されている誘致劇団の集客能力」「日常的な維持管理、市が実施する大規模修繕費用」「スポンサーからの財政負担」などに対して課題等が指摘されています。また、これまで文化会館の建設費、イニシャルコスト(初期投資)約31億が18%の削減で25億になるといわれていましたが、今回の報告書では、30年間で金利や消費税、維持費を含む総事業費が市として約136億円。事業者からの予定入札価格は、約127億円という額も示されました。市では通常10年単位で、財政計画、事業が進められています。しかし今後30年間という年月の間社会状況の変化、建物の劣化など予測できない事態が起きる可能性があります。修復の財源は?毎年の財政支出は?等今現在、不明確な点が多々あり委員会で指摘しました。

PFI手法により経費が削減されるとはいえ、巨

オンブズパーソン制度、 積極的活用のために

(総務委員会)

可決された「オンブズパーソン」とは、これまでの窓口での苦情対応、苦情申し立てとは別の新たな制度です。

市民から、市政に対して苦情の申し立てを受け調査し、必要に応じて是正するよう勧告や制度の改善を求める意見表明により、市民の権利利益を擁護するものです。またオンブズパーソン自身独自の発意で調査するなど、市政への監視機能が発揮できます。

この制度は、行政改革の一つとして取り組むものです。市民に認知され、活用が図られなければこれまでの苦情処理制度と何ら変わりがなくなります。私は委員会で「まずは職員への説明・未成年者含む市民へのPRの必要性」を求めました。「1月以降にパンフレット作成、市報などへの掲載、2月に「庁内説明会」との予定が示されました。今後、機能が発揮されるように市の対応について注視していきたいと思います。

食べ物の安全、安心のために…意見書提出



生きるための基本となる「食べ物」の安全が脅かさ

れています。12月議会では、請願採択を受け、総務委員会提案で、国に対して意見書を提出しました。

遺伝子組み換えイネを承認しないこと並びに全ての遺伝子組み換え食品の表示義務化を求める意見書

遺伝子組み換え食品は、その表示義務の対象が豆腐、みそ、コーンスナック菓子、ジャガイモなど一部の品目に限られているため、消費者の食品選択のよりどころは極めて不十分である。こうした状況下、遺伝子組み換えイネの実験栽培が国内において既に始まっている。今後、食品や飼料として承認され流通が開始されれば、子どもたちを初め、国民の食の安全は保障されないこととなる。

米はアジアに暮らす私たちの主食である。今、日本の農業の要として、環境と文化を育んできた大切なイネを守ることが求められている。よって、国分寺市議会は、国に対して以下の事項について、強く要請するものである。

- ①食の安全、農業、環境、文化を守るため、遺伝子組み換えイネを承認しないこと。
- ②消費者の選択する権利を保障するため、すべての遺伝子組み換え食品の表示を義務化すること。

活動日誌

11月 11日から13日まで

総務委員会行政視察

(大阪府 寝屋川市 期末勤勉手当に連動した管理職評価制度について)

(香川県 丸亀市 環境マネジメントシステムの独自構築について)

(三重県 亀山市 変形労働時間制度の導入について)

4日 総務委員会

18日 12月議会(第4回定例会)前、会派説明会

25日 議会運営委員会 議会日程

27日 第4回定例会開催/本会議 一般質問

12月 2日まで 一般質問

6日 総務委員会

12日 学園跡地周辺特別委員会

16日 議会運営委員会 議会だより編集について

21日 都市計画用途地域など見直しのための懇談会 Lホールにて

19日 最終日 議運/本会議

学園跡地周辺特別委員会 行政視察

2003年1月8日 (文化会館、ホールの運営について。千代田区紀尾井ホール・三鷹市 三鷹芸術文化ホール)

13日 成人式 けやきスポーツセンター

16日 議会運営委員会

28日 総務委員会

2月 3日 学園跡地周辺特別委員会

4日 臨時議会

2月24日より3月26日まで

第1回定例会

まちの声・こえ・VOICE

市役所職員の親身な対応に思うこと。

Kさんは、国分寺に引っ越してきて、高齢のご主人の介護のことで市役所に出向き相談にのってもらったことがあったそうです。相談者の立場に立って、とことん納得のいくまで親身に應對してくれた職員の方に感謝しているとのこと。「最近、よく効率性や評価など言われているけど、人の心の大切さを失なわないよう気をつけなければいけない」と話していました。(市内在住 Kさん)

編・集・後・記

来年度予算編成において、国分寺市の税収が約9億円少なくなるといわれています。第一回定例会の予算委員会では、行政内部の改革、そして福祉・環境の優先課題について市はどのように取り組むのか、審議したいと考えています。

現在2期目 皆川りうこ